

拒絶理由通知書



特許出願の番号	特願2007-198127
起案日	平成22年 9月29日
特許庁審査官	城臺 仁美 3329 3W00
特許出願人代理人	落合 健(外 1名) 様
適用条文	第29条第2項

当整理番号

639

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1
- ・引用文献等1、2
- ・備考

請求項1に係る発明と引用文献1に記載された発明とを対比するに、引用文献1に記載された発明は、能動型防振支持装置がいかなる構成のものであるか明らかではない点で、請求項1に係る発明と相違する(相違点1)。

上記相違点1について検討する。能動型防振支持装置をエンジンの振動を受ける弾性体と、弾性体が少なくとも壁面の一部を構成する液室と、液室の容積を変化させる可動部材と、可動部材を電磁力で駆動するアクチュエータとにより構成し、アクチュエータへの通電を制御することでエンジンの振動が車体フレームに伝達されるのを抑制させることは、従来周知の技術であることから(必要であれば、文献2等を参照すること。)、引用文献1に記載された発明に上記周知の技術を用いることにより、請求項1に係る発明とすることは、当業者であれば容易に想到しうるものである。

FAX. 03 (3580) 6904